

What's GOCACHEPROG?

sivchari

CyberAgent

The Go gopher was designed by Renée French.



自己紹介

GOCACHEPROGとは

GOCACHEPROGの挙動

GOCACHEPROGを触ってみる

GOCACHEPROGユースケース

まとめ





自己紹介



"

- sivchari
 - X/GitHub @sivchari
- CIU
 - AKE (Astro Kubernetes Engine)
- CyberAgent Go Next Experts
- Go Conference メインオーガナイザー











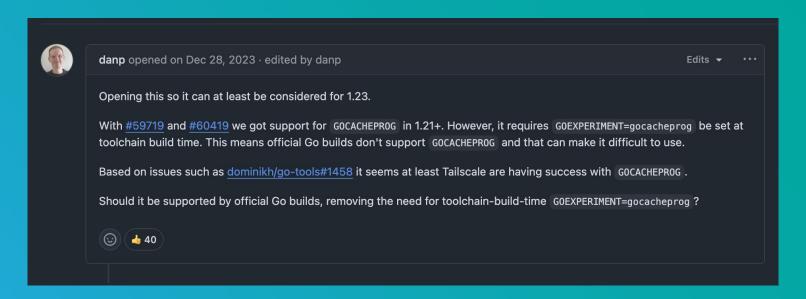




=

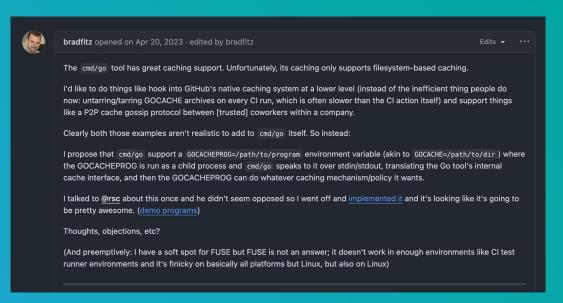
GOCACHEPROGとは

● Go1.24からデフォルトからの機能





- Go1.21から実はGOEXPERIMENTで導入されていた
 - リリースノートへの記載はなし





- リリースノート
 - https://tip.golang.org/doc/go1.24#gocacheprog

The cmd/go internal binary and test caching mechanism can now be implemented by child processes implementing a JSON protocol between the cmd/go tool and the child process named by the GOCACHEPROG environment variable. This was previously behind a GOEXPERIMENT. For protocol details, see the documentation.

cmd/goの内部バイナリ、テストキャッシュの機構は cmd/goツールとGOCACHEPROGで指定された子プロセス間のJSON protocolの実装により、子プロセスにより実装できるようになりました。以前はGOEXPERIMENTにより隠されており、詳細はドキュメントを参照してください。



- ドキュメント(cacheprog package)
 - https://pkg.go.dev/cmd/go/internal/cacheprog@master
 - デフォルトでは既存のファイルシステムによる内部で持っている キャッシュ機構を利用する
 - cacheprogにGOCACHEPROGで定義する必要のあるAPIが存在する
 - This API is internal :(





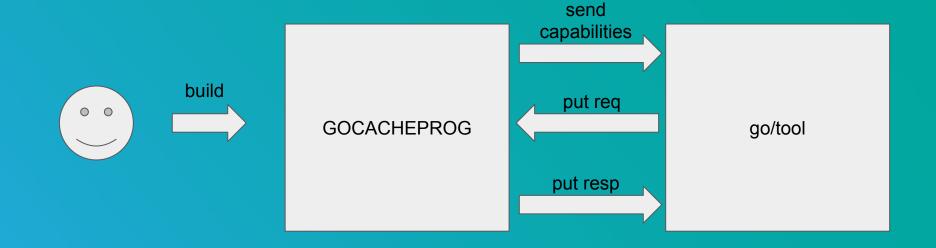








=





- send capabilitiesの書き込みから開始される
 - 現在は Put, Get, Close
 - 起動するプロセスが何をできるかを送る(MCPみたい)
 - Putを消すと絶対にキャッシュがヒットしない
 - ユーザー主体での拡張は現状できない



- それぞれのCapabilityには制約がある
 - o Put
 - Action IDをキーとしてOutput IDとBodyを保存する必要がある
 - 終了までローカルのファイルシステムにも書き込み、 DiskPathとして保持する必要がある
 - Get
 - キャッシュがない場合Missをtrueにする
 - Close
 - □ プログラムを終了させる







GOCACHEPROGを触ってみる







GOCACHEPROGを触ってみる

- リポジトリはすでにいくつかある
 - https://github.com/search?q=GOCACHEPROG&type=rep ositories
- bradfitzさんのサンプルはgoroutine周りのハンドリングが失敗しているため修正版を試してみる
 - https://github.com/or-shachar/go-tool-cache



GOCACHEPROGを触ってみる

- git clone git@github.com:or-shachar/go-tool-cache.git
- go build -C cmd/go-cacher
- GOCACHEPROG="./cmd/go-cacher/go-cacher --verbose" go install std
 - 1回目はキャッシュがないため時間がかかる
 - o 2回目はキャッシュが当たっていることがわかる







GOCACHEPROGのユースケース



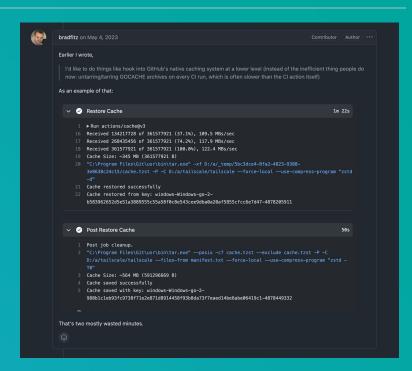






GOCACHEPROGのユースケース

- CIの速度改善
 - taring/untarringをやめる
 - 部分的なcache hit
 - build cacheはpackageごと
- ・ メトリクス
 - ビルドのキャッシュヒット率
- HTTP Serverによるキャッシュ共有









まとめ





Summary

- GOCACHEPROGによりキャッシュの拡張が可能になった
- サブプロセスに委譲するような機構はプラグ化しやすく他言語、WASI などとの連携もできるようになりそう
- API定義を公開しているのでぜひご利用ください
 - https://github.com/sivchari/gocacheprog-api

